

造形後に形状を自由に変更できる
3Dプリンター用「感温性フィラメント」で
慶応大学とユニチカがコラボレートしたスペシャルムービーを公開!!

ユニチカ株式会社(本社：大阪市中央区 社長：注連浩行)は、3Dプリンターやレーザーカッターなど、デジタル製造工作機械の可能性を探求している慶応義塾大学SFC田中浩也研究室と、3Dプリンター用「感温性フィラメント」でコラボレートしたスペシャルムービーを公開しました。

スペシャルムービーで紹介する作品は、同研究室の総合政策学部4年生・田岡菜さんと、環境情報学部3年生・磯野江里さんが制作しました。安全な低温域で温めるだけで、自由な形状の変更が可能になるという「感温性フィラメント」の特性を活かしつつ、想像力豊かな柔軟な発想から生まれた魅力的な作品を、ユニチカグループウェブサイトの素材の“力”をムービーで伝える「The Power of Materials」で紹介します。

○慶応大学×ユニチカ スペシャルムービーについて

田岡さん、磯野さんが制作した両作品は、「感温性フィラメント」の特性を活かし、温めることでひとりで動き出す幻想的な作品です。



温められた台の上で造形物が動き出します



慶応義塾大学 総合政策学部
4年生 田岡 菜



白熱電球の熱によって温められた造形物が動き出します



慶応義塾大学 環境情報学部
3年生 磯野江里



www.unitika.co.jp/pom/

※YouTube ユニチカ公式チャンネルでもご覧いただけます。